

罖を仕組んだのは誰だ!!  
世紀の大ペテンが今始まる!

# デス・オブ・ダイナasty

HIP HOPは死なないぜ!

監督：デイモン・ダッシュ 出演：エボン・モス=バクラック、デヴォン青木、カボン、ロバート・ステーブルトン、クロエ・セヴィニー、ジェイ・Z、DMC、ジャム・マスター・ジェイ、デイモン・ダッシュ

日本語字幕：小池まどか 字幕監修：二木崇 配給：アップリンク (アメリカ/2005年/91分/35mm)

[www.uplink.co.jp/deathofadynasty/](http://www.uplink.co.jp/deathofadynasty/)



DEATH OF DYNASTY



R&B FM



ビーフ

抗争勃発!! 史上最大のヒップホップ帝国ロッカフェラの崩壊!?

# 罣を仕組んだのは誰だ!

**MIC** アメリカ人人気の  
ヒップホップマガジン

## ロッカフェラ ROC-A-FELLA

ヒップホップ史上最大の帝国を築き  
上げた史上最強のレコード・レーベル



**ライアー**  
(ジェームス・トバック)  
ロッカフェラ親会社の  
経営者



**イーキュー**  
(アシュレイ・シエルトン)  
デモンの撮影係で常に彼  
のそばにいる。実はデモン  
の事が好き?



**ビッグス** **ラッキー**  
(ジェラルド・クレイ) (クヴィン・ハート)  
デモンのビジネスパートナー。権  
威な無口で、会話は彼の選択ラッ  
キーが全て代弁する。



**デイク・カッツ**  
(エボン・モス=バクラク)

マイクの新人ライター 調子乗りの  
ミーハーだがロッカフェラ潜  
入に大抜擢される



**レイナ・ハドソン**  
(ラシダ・ジョーンズ)

デイクにロッカフェラ潜入  
を命ずる MICの女社長。



**デモン・ダッシュ**  
(カボーン)

ロッカフェラCEOにしてヒッ  
ホップ界きってのビジネス  
マン。しかも無類の女好き。



**ジェイ・Z**  
(ロバート・ステープルトン)

もはや説明不要のキング・  
オブ・ヒップホップ。



**ピカソ** (デヴォン青木)

最近ニューヨークに越してきたモデル  
その美貌でデモン、ジェイ・Z  
をメロメロに。



**P・ディディ**  
(ケヴィン・ハート)

ピカソをデモンで紹介す  
る。ロッカフェラとの関係  
は何やら微妙なようだ。



**ヤングフレッシュ** 味  
(スモーキー、他)

デイクの行動をなぜか全て  
把握している謎の一味



**ディック**  
(チャーリー・マーフィ)

大手新聞マンハッタン  
・グループの編集者。  
大ネタを探している



**ルー・チャップマン**  
(Mr.ブルー)

全米一の人気ラジオ番  
組「ヒップホップ95」  
のプロデューサー



**ドクター・ドレ  
&  
エド・ラバー**

ラップ番組の人気司会者コン  
ピ。デイクも昔から大ファン



**DMC** **ジャム・マスター・  
ジェイ**

ヒップホップ界の重鎮。  
この物語の傍観者的存在

## いったいどこまで本当なんだ?

ヒップホップ史上最大の帝国「ロッカフェラ・レコード」。その巨大帝国の閉ざされたドアの内側を舞台に、リアルとフェイクが入り混じる世紀の大ベテスが今始まる。プリンプリンに豪華!徹底的におバカ!だけどガツンとブラックジョークの効いたコメディ・モキュメンタリー。それが『デス・オブ・ア・ダイナ스티/HIP HOPは死なないぜ!』だ。

### <モキュメンタリー>

映画の手法の一つ。架空の存在を、あたかも現実存在するように、嘘と現実を入り混ぜて描くドキュメンタリータッチのフィクション。「滑稽な真似事、作り替え」という意味の英語「mockery」から転用した造語。古くは『スパイナル・タップ』(1984)最近では『ブレア・ウィッチ・プロジェクト』(1999)などが挙げられる。

## デヴォン青木デビュー作! 妖しく誘うガールズにHIP HOPも恋をした!

監督はロッカフェラ・レコード創設者でもあり、ヒップホップ界きってのビジネスマン、デモン・ダッシュ。そして彼のもとに集まったのはあまりに豪華な出演者だ。物語の鍵を握る魔性の女を演じるのは、本作が映画デビューとなったデヴォン青木。ヒップホップ界からは、ジェイ・Z、デモン・ダッシュ、ドクター・ドレ&エド・ラバー、N.O.R.E、DMC、そして今は亡きジャム・マスター・ジェイなど超豪華アーティスト。女優陣も、クロエ・セヴィニー、ラシダ・ジョーンズなどのホットな女優が揃う。他にもコメディアンからボクサーまで幅広いメンツが!

### STORY

架空のヒップホップ誌「MIC」の新人ミーハーライター、デイク・カッツ。彼は上司から、デモン・ダッシュと、ジェイ・Zの2大HIPHOP帝王が運営するロッカフェラ・レコードに潜入し、暴露ネタをすっぱ抜いてくるという任務を与えられる。しかしロッカフェラ・レコードに出入りし始めたデイクは会社を裏切り、ネタを他誌に売りどンドン出世していく。ついには自分こそがロッカフェラ・レコードを操っていると思い込んでいくのだが...

### 映画が予言? 皮肉すぎる結末!

「麻薬、抗争、投獄」悪名高きラッパーが、地道に活動するラッパーよりも儲けている今のヒップホップ界を皮肉りながらも、映画製作後、今度は現実にデモンとジェイ・Zの信頼関係に亀裂が走りお互い別々の道を進んでしまったのは、あまりにも皮肉な話である。またDMCとジャム・マスター・ジェイが、暴力や軋轢のなかつたオールドスクールのラップをノスタルジックに語り合う。ここで会話は、ジャム・マスター・ジェイが2002年の10月に殺害されることになった口論を皮肉にも予言してしまっていた。



# 7月21日(土)より渋谷アップリンクX、吉祥寺バウスシアターにて公開

一般¥1500 学生¥1300 シニア¥1000  
アップリンク 13:00 15:00 17:00 19:00  
バウスシアター (上映時間は劇場にお問い合わせ下さい)  
www.uplink.co.jp/deathofadynasty/

**UPLINK X**  
東京都渋谷区宇田川町37-18ツネビル1F  
TEL 03-6825-5503



中央口・サンロード街・西友先左側  
**吉祥寺バウスシアター**  
TEL.0422-22-3555  
www.baustheater.com

